

障害福祉センターハートフルについての意見集約票

①論点	②市として確認したい事項	③カテゴリ	④ご意見または、会議で確認したい事項等
市立障害者施設として担うべき役割について	市立障害者施設として、今後、ハートフルが担うべき役割(サービス)について何が考えられますか。また、どういったことに期待しますか。	セーフティネット機能	<ul style="list-style-type: none"> ●重度重複障がい者の受け入れについて、民間で受け入れ困難な方への対応ができる点(地域生活のセーフティネット)は継続を期待します。 ●民間では対応の難しいセーフティネット的な役割
		障害者施策等の拠点・交流等の場	<ul style="list-style-type: none"> ●今後担うべき役割としては、公的な茨木市の障害者施策の拠点として、市民への啓発普及・エビデンスに基づいた支援方法などの支援者の研修、看護師、理学療法士、作業療法士、介護職などの専門職の教育的拠点、家族会などの実施、当事者活動拠点、市民ボランティアの教育拠点、市民学習としての講演、情報拠点、茨木の様々なサービスをつなぐ連携拠点としての役割が必要かと思う。市民が共感し参画できるような施設となる必要があると思う。 ●それぞれのサービス量と稼働率だけでなく、質の評価、利用者満足度の評価が必要であると思われる。それらの指標づくりも含めて、また市民にどの程度伝わり普及しているか結果評価が重要であると思う。茨木市民の施設の認知はどの程度だろうか。障害理解が進んでいないように施設も市民に障害者が通う施設としての認識しかないのかもしれない。広い施設や十分な施設を生かして、より地域の人が入り出し、障害のある人もない人も相互交流していける施設を目指す必要があると思われる。 ●市の中核障がい者福祉センターとして、制度ではカバーできないことを期待したい。 ●地域住民との交流や啓発事業を中心となって事業展開をしてくださる役割に期待している。 ●障害のあるなし関わらず市民が集え、交流できる場所になってほしい。誰もが立ち寄りやすい、入りやすくなる仕掛けが必要(例:玄関側をオープンカフェのようにする、レストランの復活など)。 ●ハートフルは、障害者が安心して集える交流の場として、活動の拠点としての大切な施設です。資料2として、東保健福祉センターに関する物がありましたが、ハートフルも保健福祉センターを併設されるということでしょうか。部屋の稼働率や空きスペースの活用としては、それも一つの活用方法ではあるとは思いますが、唯一の障害者施設としての充実や発展について考えていただきたいと思います。
		その他	<ul style="list-style-type: none"> ●講座、研修及び啓発については、福祉人材の確保と質保証の点から、一層の取り組みを期待します。一方で、市民に向けた啓発についても、文化・芸術活動を通じた取り組みが可能という点には期待したいと考えます。 ●災害時の福祉避難所に指定されており、指定避難所での避難所生活が困難な方の二次的避難所としての位置づけだが、高齢者や障害者は一次避難所からの移動が難しい場合も考えられる。トイレが各階に複数あるハートフルは、指定避難所に不安がある方が真っ先に思い浮かべる避難所にあたり、そのため、一次避難所と変わらないタイミングで開設してほしい。
	ニーズに合致している	<ul style="list-style-type: none"> ●合致していると思います。指定管理料に見合っているかということについては、いろいろな見方があると思いますので、一概にはなんともいえませんが、高すぎるとはいえないと思います。事業内容を見ても、あれだけのスタッフを確保できる場所は無いと思います。 ●前回の検討会議でお話を伺う限りでは、ニーズに合致していると思う。 	
現在、ハートフルの機能は、障害者、障害関係団体又は地域住民のニーズ等に合致していますか(指定管理料に見合う内容も含めて)。	その他	<ul style="list-style-type: none"> ●茨木市の障害者・障害者団体、地域住民のニーズがどのようなものか。いくつかのアンケートを実施されていると思います。ただ、それらの分析とニーズには表されていない見えないニーズの把握も必要だと思われる。ただ、現状の稼働率が実施しているサービスで低下しているということは、サービスがニーズに合致していないことがあると思われる。また、現在はより個別的な支援が問われているので、その対応がどの程度できているかが重要な点であると思われる。指定管理料と見合うかどうか考えるのであれば、結果評価などを詳細に実施してその分析によってニーズの把握、実施に伴う結果評価を考える必要があると思う。 ●要望・満足度調査の結果を見る限り、ニーズ等を踏まえたより一層の取り組みを期待したい。一方で、指定管理料と事業の実施、維持・管理にかかる費用のバランスをとることは困難があり、市立施設として継続していくためには、相当額の指定管理料が必要であると考えます。 	

障害福祉センターハートフルについての意見集約票

①論点	②市として確認したい事項	③カテゴリ	④ご意見または、会議で確認したい事項等
施設利用に関する利用者範囲の拡大	貸室の利用対象者、空きスペースの利用について、障害者以外の方の利用に拡大した場合、考えられる良い点や悪い点、また、注意すべき点についてお教えてください（悪い点については、その解消方法も含めて）。	良い点	<ul style="list-style-type: none"> ●様々な市民が活動場所としての利用ができることが、施設の啓発普及・障害者施策の理解に繋がること。 ●地域交流の促進、啓発に繋がることです。 ●障害のあるなし関わらず、市民交流の機会が増え、現在閑散としている館内に活気が出ること、空き室を地域の集まりや企業等にも使ってもらえるようにすれば、地域の繋がりを作ることもできる。 ●多くの市民に障害者への理解を深めることに繋がると思います。ただ、貸室として障害者関係以外の団体が利用することにはいろいろな問題が発生すると思われます。例えば、利用料のことなどです。現在ハートフルは、無料で貸し出されています。他の施設は有料となっています。有料での貸し出しを実施する場合の条件や支払の手続きなど、事務が複雑になるのでは無いでしょうか。それだけの手間をかけるぐらいなら、もっと障害者へのサービスを充実していただきたいと思います。 ●利用者対象者を拡大することで、施設について関心を持ってもらえるよい機会になるのではないかと。
		悪い点	<ul style="list-style-type: none"> ●障害者以外に拡大することで障害者が必要な施設を利用できなかったり、することがある場合が悪い点であると思われる。ただ合理的配慮として、障害者の人の申し込みを早くできるようにしたり、申し込み方法が簡単にするのもできるのではないかと考える。 ●重度障害者が自由に活動しにくくなるのではという心配があります。視覚障害者の場合、ガイドヘルパーの支援無しで単独で動ける場所は、今のところハートフルぐらいしか無いと思われます。多くの人が行き来することになると、唯一の単独での移動が困難になるのではと危惧します。今後、市民会館や子育て支援を中心とした新しい施設ができるので、多くの市民が利用することになります。本来は障害のある人も同じように新しい施設を利用できることが当たり前なのですが、単独で行動できるということにはなかなかならないと思います。
		注意点	<ul style="list-style-type: none"> ●実際の程度障害者以外の人から依頼があるかわからないが、より多くの市民に利用者してもらうことが必要であると思われる。 ●利用者範囲の拡大については、積極的に行うべきと考えます。ただし、その結果として貸室利用の増加につながるか疑問です(どのように周知するか等)。注意すべき点は、単なる貸室事業とならないことだと考えます。例えば、貸室事業の職員については障害者雇用を行うとしてはいかがでしょうか。 ●注意すべき点は、利用状況等が変化していく時には、これまで利用されている方々にも、何かご案内等情報提供ができれば、より円滑ではないかと感じます。
	貸室の利用対象者を障害者以外の方の利用に拡大した場合、貸室の予約方法について注意すべき点(附する条件等)があればお教えてください。	優先枠、利用料金等	<ul style="list-style-type: none"> ●障害者や家族、関係団体の場合の優先枠の作成や利用料金の低減は必要かと思われる。当事者団体以外からの申し込みに関しては、一般の貸し室利用と同じように利用目的、原状復帰など付帯条件をつけること。(ごく一般的なものだと思います。) ●障害者団体等の優先枠は設けるべきと考えます。理由としては、一般施設において障害者の方が不自由なく利用できる施設が少ないことから合理的配慮の範囲だと考えます。利用者のうち、障害者の方の人数に応じた割引制度を設けるなど、施設の設置目的を市民に周知していければと考えます。 ●予約希望日より一定期間前から予約を受け付け、障害者(関連団体)とそれ以外の方の予約が重なった場合は、障害者(関連団体)の方を優先するなどの配慮が必要かと思えます。それ以外の方同士が重なった場合は、抽選とするなど。また障害者(関連団体)からの予約方法については、混乱を招かないよう、できるだけこれまでと変わらない方法で予約できるようにするなど配慮が必要。 ●予約日を障害者和其他の団体とずらせること。利用料を取る。条件として、講座や研修会などに障害者も参加できること。障害者や障害について理解するための講座や研修会の利用に限ること等です。 ●同じ団体だけに片寄らないように、公平性を保ってほしい。予約方法については、予約される方が使いやすいツールを選べるよういくつかの予約方法を設定が必要だと思う。

障害福祉センターハートフルについての意見集約票

①論点	②市として確認したい事項	③カテゴリ	④ご意見または、会議で確認したい事項等
<p>地域活動支援センターⅡ型及び入浴サービス事業における利用者の減少傾向について</p>		<p>地域活動支援センターⅡ型に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●機能訓練に特化して取り組める活動場所は、茨木市の福祉事業所で他になく、とても貴重な社会資源と感じています。これまで利用に至らなかったケースでは、「送迎支援がないこと」が理由でした。移動支援サービスの利用で繋げたことはありましたが、別の社会資源の課題や時間調整の難しさがあり、気軽に利用できるものではありませんでした。 ●介護保険対象の人が利用できなくなった時に利用者が減ったと聞いていますが、それ以降については、よくわかりません。 ●「地域活動支援センターⅡ型」事業の認知度が低いように思う。具体的にどのような方々が利用されていて、どのような経緯で利用に至るのか教えてほしい。
	<p>地域活動支援センターⅡ型及び入浴サービス事業については、利用者が減少傾向にあります。 減少傾向について、考えられる要因についてご意見ください(具体的に各サービスのニーズ等で把握されておられる情報があれば併せてお教えください。)</p>	<p>入浴サービス事業に関すること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●コロナでの利用控えも要因かと思います。また、生活介護での入浴に対する補助金が創設されたことで、入浴が可能な生活介護事業所が増えたため。とはいえ生活介護での入浴にも限りがあり、今後も続けて欲しい。 ●コロナの影響が大きいと思います。それに、利用したい曜日や時間帯と、利用できる時間帯などがなかなか一致しなかったり、調整が難しいのではと思われます。しかし、機械浴など重度障害のある人にとっては、他には無い設備だと思います。
		<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●利用者のアウトカムの取得が重要。何によって減少傾向となっているのか、様々なデータと分析が必要であるとする。 ●利用者のサービス利用への満足度を理解する必要がある。ただ考えられる原因としては、ハートフルにいかなくてもサービスが受けることができている。他のサービスの方がよい、時間制約などによって利用したい時間に利用できない。施設が遠くて利用したくても利用できない。また地域活動支援センターⅡ型も機能訓練や作業訓練などを行っているが、マンネリ化していたり、効果などが実感していない可能性がある。また療法士の力量が問われるので、このあたりも利用者評価が必要であると思われる。 ●Ⅱ型、入浴ともに65歳になると利用ができなくなるので、特に重度な方の入浴はその後苦労されているのではないかと気になります。 ●いずれのサービスについても、他施設での代替可能性について知りたい。利用者のニーズはあると思いますが、同様のニーズの受け皿となる施設があるのかわかりませんので、質問したいです。
	<p>このまま減少傾向が続く場合、費用対効果も考慮したうえで、引き続き市立のサービスとして継続する必要があるか(必要がある場合は理由、利用増加への提案についても併せてご意見ください。) また、今後、継続・廃止も含めて、事業の方向性を決めるにあたり、考慮すべき事項についてご意見ください。</p>	<p>対象者の拡大、継続の必要性について等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●市立の施設としては、民間と異なり市民サービスとして継続することは必要だと思う。ただ、費用対効果への対策も必要である。利用者増のためには、高齢者(特に認知症予防を考えている人)、予防的観点から中高年の利用なども視野に入れて活動も考えることができる。現在は障害者手帳を持っている人のみに利用が限られているので、そのあたりの再考察は必要だと思う。また、その際にサービスを実施する人の知識・技術が表示されるようにして、利用者の目標が達成するなど目に見える行動の変化や結果の明示は必要であると思われる。 ●地域活動支援センターⅡ型、入浴サービス事業ともに、現在、利用されている方がいるので、ぜひ継続していただきたい。入浴支援については、ハートフルの入浴のみで生活を維持されている方々がいます。送迎支援が充実すれば、より利用しやすいのではないのでしょうか。費用の徴収など検討は必要かもしれませんが、利便性を高めることは大切だと思います。また、65歳以上の方も利用できるようなれば利用増加にもなるのではないのでしょうか。 ●ハートフルは、障害者のセーフティネットの役割を果たすところです。1人でも必要とする人があれば、行政として見捨ててはならないと思います。それに、何でも「費用対効果」だけで必要性を判断することに違和感を覚えます。 ●民間での対応が難しい方のセーフティネット的な役割として、継続する必要があると思う。自分のこどもがまだ成人していないことや自分自身が勉強不足な点はあると思うが、重度障がい児を育てている家族に対しての将来の我が子居場所の1つとして安心が得られるような情報発信、施設のサービス内容等を発信してほしい。 ●上記の質問(他施設での代替可能性について)への回答により異なりますが、他のサービスで対応できないようでしたら対象が少なくても事業継続は必要であると考えます。市内で受けることのできるサービスの範囲を狭めることのないよう考えていきたいです。 ●今後のサービスの充実に向けての要望は、ハートフルで昼食や交流ができるカフェのようなスペースがあれば、もう少し利用者が増えると思います。レストランがあったときは、昼ご飯を食べにだけ来る人もおられたと聞いています。今では、会合があるときだけ来て、終わったら帰るという感じです。以前なら他の団体の人との交流がお茶を飲みながらできたのに、と思うととても残念です。せめて、弁当だけでも販売して欲しいという意見も聞いています。